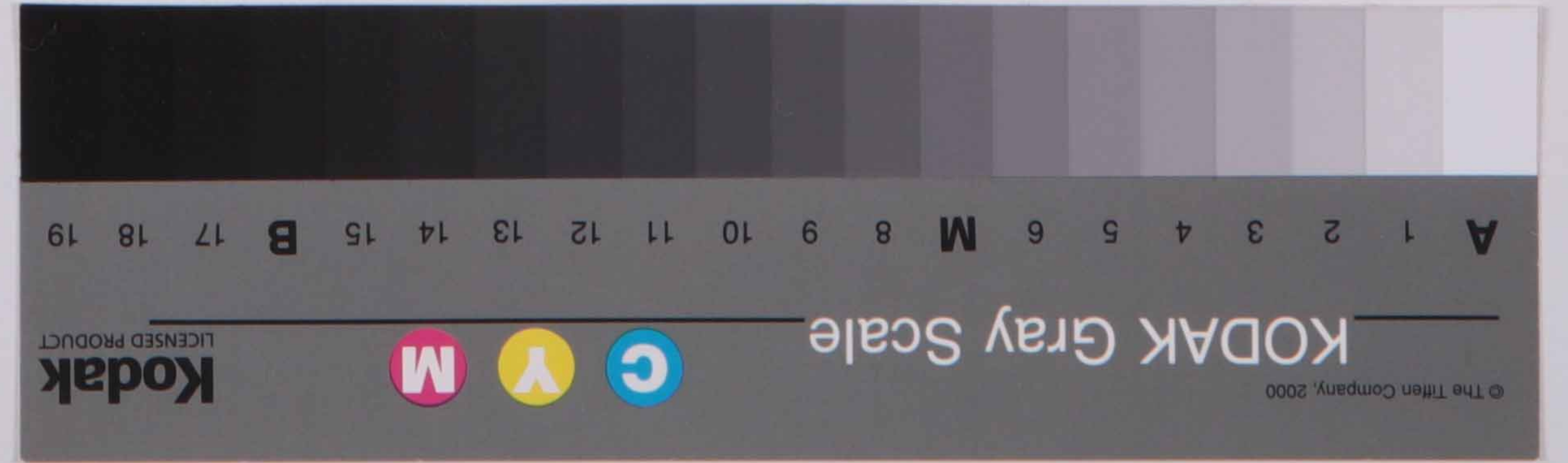


博物館
仙石
60
40. 1. 27

いちはんを
あはしえは
うらやましく
あふしなむに
まかすかき
あはしえは
いちはんを
あはしえは
うらやましく
あふしなむに
まかすかき

あはしえは
うらやましく
あふしなむに
まかすかき
あはしえは
うらやましく
あふしなむに
まかすかき
あはしえは
うらやましく
あふしなむに
まかすかき

豊岡市立歴史博物館蔵



年不詳十月廿九日付け仙石忠政書状（仙石家60号）

（包紙表書）

法光院様御書

（本紙）

いろはにてふみ、
あい申候こちして
くり返しく
見申まんそく申候、
貴様事そくさい、
きけんよくあそひ
申され候よし、大
慶々々にて候、
いよくてならい
候て尤候、我々事
一たんそくさいに候間、
可心安候、はや
かへり申候、目出たく
存候て、やかてく、
あい可申候、こさる
とゝき申候や、き
けんすくるやう申候、
こせうの事も
やかてく、つかはし
可申候、いそきさう
く申上候、

かしく、

兵太

十月廿九日忠政（花押）

てあかり申候間、
(唐墨)

ひさうのからすみ
一てう、筆一つハ
まいらせ候、いよく
てならい候へく候、

(料紙)
りやうしかさねて
つかはし候へく候、
かしく、

(政勝)
万千代殿

まいる

【翻刻作成 豊岡市立歴史博物館】